



第28号
2025年6月1日発行
(令和7年6月1日)
発行責任者
松永 隆
連絡先: 東京都世田谷区
松原3-27-27
TEL. 03-3327-4730



松中同窓会
ホームページは
こちらから！



同期の集まりを大切に

会長 20期 松永 隆

日頃は、同窓会活動への参画・ご支援ありがとうございます。5面にあるように昨年度は、吹奏楽部の活躍を支援する形で新品のトロンボーンを学校に寄贈しました。同窓会の大きな目的の一つである「母校の発展に寄与する」を具体化したものです。

さて、喜寿を過ぎた世代で同期会を終了する期が始まっています。以前は苦もなく可能だった同期会の企画や実施が、加齢とともに億劫になる方が増えるのもこの年代です。そこで、年齢を問わない同窓会の懇親会を設定しました。今回、参加費500円で同期の方は隣り合った場所です。懇談する形をとり、差支えない方は参加予定者をホームページに掲載します。

次期の役員メンバーを 探しましょう

役員

の殆どが2年後(2027年)の改選期には、後期高齢者の集団になってしまします。ですので、持続可能な同窓会についても語り合ひましょう。多くの方が同窓会の運営に関わっていただくことを切にお願いします。高齢化の現状は、

11面の「年代別会費納入分布」もご覧ください。

2025年度では、今後の同窓会の在り方について、今後も継承していただける方が現れない場合は、創立80周年で、同窓会の解散も1つの選択肢として検討したいと思ひます。

2025年全体行事(全体懇親会を除きミーティングルーム)

2025年10月25日(土)

この日は、体育館で在校生の合唱・演奏があります。見学も可。

◎ホームカミングデー 9:30 ~ 14:30

◎講演会 15:00 ~ 16:00

演 題 「プラネタリウムよもやま話」

講演者 守谷昌志郎さん(24期) (「松の葉星の会」所属)

※松の葉星の会とは「松沢中学校天文気象部」を母体に発足した「松沢天文同好会」が改名した会です。

当日先着順で50名が聴講できます(同窓生、在校生、保護者、地域の方もOK)。

副校長先生異動



林 芳樹 副校長

三次福太郎副校長は大田区立大森東中学校に転出されました。同窓会活動のコロナ禍からの正常化過程でご尽力いただきました。同窓会役員一同感謝しております。新任校でも元氣にお過ごしください。

後任には世田谷区教育委員会から林芳樹(はやしよしき)副校長が着任されました。5年間の教育委員会勤務の前は神津島で美術を教えていたそうです。趣味はスポーツで好きなスポーツはサッカー、ランニングだそうです。若き副校長に期待しております。

中 松 近 況

校長 大塚 洋一



日頃より、同窓会のご理解ご協力に感謝申し上げます。令和六年度は、コロナ禍を経て整備された教育活動を展開することができました。

精選した部分もありますが、充実した内容は以前と変わりなく、今まで以上を目指して取り組んできました。今年度も昨年度以上の内容を目指して取り組み、生徒の成長につなげてまいりたいと存じます。

今後とも皆さまのご理解・ご協力、そしてお力添えをよろしくお願い申し上げます。

【令和六年度学校教育活動報告】

●入学式

四月九日に挙行された入学式は、あいにくの天気となりましたが、在校生の大きな声で迫力ある校歌や新入生呼名に対する大きな返事で晴れやかな式となりました。新入生一二二名(ときわ学級八名含む)が入学し、一年生四学級で通常学級十学級、と

きわ学級三学級で令和六年度がスタートしました。

●松中祭(舞台の部)

全校が一堂に会し、今年も松中祭(舞台の部)を開催。各クラスが音楽の授業と二週間の特別練習の中で生徒中心に取り組んできた合唱。コンクール形式で競いましたが、どのクラスの合唱も甲乙つけがたい素晴らしい出来栄でした。そして、点数に関係ない学年全員による合唱は圧巻で、感動するに値するものでした。まさしく掲げたスローガン「飛唱へ」となった松中祭となりました。

●卒業式

令和七年三月十九日、在校生やご来賓、多くの保護者の皆さまに見守られ、一二〇名(ときわ学級含む)の卒業生は立派に松沢中学校を巣立っていきました。

雪降る中での歓送となつてしまいましたが、別れの涙あり、充実した学校生活で晴れやかな顔あり、と卒業生の想いの詰まった三年間が回想できる気がしました。今後の道でますますの成長と活躍に期待したいと思います。これで卒業生総数は一七三五〇名となりました。

●改築計画

方針が決定したと区より報告がありました。今年一年間、改築基本構想検討委員会にて基本構想(案)の策定に取り組んでまいります。詳しくは区のHPで「改築だより」をご覧ください。

各期だより

4期

卒寿・最後の同期会

4期 朝倉 和子・船曳 孝彦

田圃の中に新築された松沢中学で学んだ四期生も卒寿満九十歳ないし八十九歳を迎え、最後の同期会を行いました。卒業後七三年を超え、思えば長い付き合いで、思い出は戦後日本の歴史そのものです。

卒業時は百五〇人程いた筈ですが、連絡が取れたのが十五人、二〇二五年四月二十八日、目白の小フレンチ店に集れたのは五人で、それぞれ大なり小なり高齢者特有の持病はあるものの、亡くなられた旧友の話や、病気の話、国内・海外旅行の話、ゴルフの話など、元気に和やかに談笑することが出来ました。当時の松中について、同期小室横嗣君が、松中通信に書き残してくれた、今では考えられない状況でした。よくぞ続いたものと誇りをもって四期生同期会の打ち止めとしました。



出席者は赤羽(渋谷)康子、柴山(宮岡)雅子、田中(渋谷)節子、朝倉(北岡)和子、船曳孝彦(唯一の男性)でした。

8期

8期ミニ同期会

8期会 半田 敏雄

3月後半というのに珍しく雪の降った今年3月19日に久しぶりのミニ同期会を開催しました。雪の中を85歳の老友8名が、12時に銀座ライオン新宿エルタワー1店に集まりました。参加者は、柿内忠義、田中雅治、桜井紀義、吉田隆直、有村(立野)雅子、古賀浩、奥野克明、半田敏雄の8名で全員元気そのものでした。紅一点の有村さんは、雪のため一旦参加を断念したものの、お嬢さんに駆まで車で送ってもらい無事参加となりました。

雪の中、延期も考えられましたが、鎌倉から駆けつけた柿内君から早々に電話があったり、「もう家を出て電車に乗ったから延期するなよ」との一言で延期は無くなりました。

我々8期生は今年で86歳になるため、参加者も減少せざるを得ない状況ですが、中には田中雅治君のように自分で車を運転して北海道旅行に出かけ、5000キロを走破する猛者もいて、それぞれが健康に留意しながら健在でいられることを喜びました。話題は松中時代の思い出から、小学校時代にまでさかのぼり、最近の生活ぶりや病気の話まで多岐にわたり、談論風発のなか2時間半がまたたく間に過ぎました。次回は「懐かしの下高井戸でやろう」という声も出るなか無事散会しました。

り毎年ミニ同期会の機会を作りたいと思っています。なお、8期会へのご連絡は奥野幹事(070-3881-5034)までお願いします。



13期

母校に寄せて

第13期卒業(1960年) 山中 英美

松沢中学校を卒業してから、64年の歳月が流れ、気がつけば傘寿、時の流れの速さについていけない今日この頃です。

昨年10月19日、「ホームカミングデー」のご案内を頂き、同期の友人を誘い4人で母校を訪ねました。「あの頃」と校舎も体育館も全て新しく様変わりしていましたが、やはり懐かしい母校、楽しかった在校時の思い出がよみがえり、感慨もひとしおでした。同窓会会場では懐かしい写真などが綺麗に展示されてい



て、中学時代に「タイムスリップ」...松永会長さんはじめ、スタッフの皆様は温かい笑顔で迎えて頂き、短い時間で懐かしき楽しいひと時を過ごす事ができました。ありがとうございました。

2023年10月、私達第13期同期会は、この会でファイナルといたしました。出席者のなかには、「これから同期会を開いてほしい」というご要望も多々ありました。今後、同期会を再開できるかわかりませんが、幹事は時々集まり、今も親交を深めています。

昨年12月に、下北沢「湘南倶楽部」で、1年を締めくくる食事会を開きました。私達にとりまして松中が過ぎた3年間は、かけがえのない大切な宝物、これからも、沢山の思い出を語り継いでいきたいと思っています。

最後に、同窓会役員皆様の日頃の活動に感謝申し上げます。とともに、益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

20期

20期同期会

20期 貝原 延栄

西暦偶数年の5月第3土曜日に開催することになっている20期同期会。

前回2022年は、3密を避けてマスク着用での茶話会形式で行われ、またコロナ禍のため4年ぶりの同期会でした。今回2024年5月18日は、松中の地元である下高井戸の『たつみ』で開かれました。参加者22名が全員72歳で、おしゃべりや笑いで楽しく賑やかなひとときは、よくある居酒屋での風景でした。

近況報告タイムでは、年相応の体調の悩みにならずき合ったり、親の看取りを終えて実感した自身の終活の必要性の話に聞き入ったり。そして、今再び夢中になっている趣味のことや、中にはそれをボランティアで披露しているという話には元気をもらいました。

20期の皆さん、これからも健康に留意して、また2年後笑顔で会いましょうね!





24期

24期同期会

寺島 誠秀

松沢中24期同期の有志で新年会を2月1日(土)に新宿のエスカイヤクラブで開催し16名の方が参加しました。皆さん元気に近況を話し楽しい時間を過ごしました。今年も人生七十古来稀なり“の古希の年齢になり、古希を祝う同期会を7月5日(土)に開催する予定です。

さて、1970年に24期は修学旅行で大阪万国博覧会に行き、そして古希の年齢の今年にまた大阪で万国博覧会が開催される巡り合わせの不思議さと修学旅行の懐かしさを感じています。末筆ではございますが、同期の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

26期

学年全体の同窓会

26期(昭和48年3月卒業)

磯田 秀俊

私達の学年は、昨年11月9日(土)に、東新宿にて：学年全体の同窓会を開催：62名の参加で、和やかなひと時を過ごしました。

当初、令和2年に予定していた会が、新型コロナウイルスのため延期を余儀なくされ：4年越しに実現したものです。

連絡先不明者が多く、物故者も少しずつ増えて来ており：一人でも多く声をかけられるよう：松沢小・赤堤小時代の同級生や、途中転校者にも：判る範囲で全員に案内をさせて頂きました。

当日は、50数年振り：という再会も数多くあり、懐かしさ一杯の雰囲気でした。

風貌が変わり、顔を見ても誰か判らない人も、全員着用してもらった名札で「正体」が判明すると、一瞬で昔に戻る：幼なじみとは、本当に良いものです。

SNSやメールでの連絡網も拡がり、LINEグループは現在約90名の方が参加されています。

今後も、生涯に渡る同級生コミュニティを継続していきたいと、望んでおります。

併せて、26期の方で昨年ご案内を受けていない方や、そのご家族(父母兄弟姉妹)がいらっしやいましたら、以下へ是非ご連絡ください。何卒、宜しくお願いいたします。

また、令和2年に予定していた会が、新型コロナウイルスのため延期を余儀なくされ：4年越しに実現したものです。

連絡先不明者が多く、物故者も少しずつ増えて来ており：一人でも多く声をかけられるよう：松沢小・赤堤小時代の同級生や、途中転校者にも：判る範囲で全員に案内をさせて頂きました。

当日は、50数年振り：という再会も数多くあり、懐かしさ一杯の雰囲気でした。

風貌が変わり、顔を見ても誰か判らない人も、全員着用してもらった名札で「正体」が判明すると、一瞬で昔に戻る：幼なじみとは、本当に良いものです。

SNSやメールでの連絡網も拡がり、LINEグループは現在約90名の方が参加されています。

今後も、生涯に渡る同級生コミュニティを継続していきたいと、望んでおります。

併せて、26期の方で昨年ご案内を受けていない方や、そのご家族(父母兄弟姉妹)がいらっしやいましたら、以下へ是非ご連絡ください。何卒、宜しくお願いいたします。



磯田秀俊 電話：080-3479-8095
E-mail：hideisoda@gmail.com

33期

還暦同窓会

還暦同窓会幹事 小坂 朋子

2020年に予定していた33期の同窓会でしたが、コロナの蔓延より自粛要請で延期となり、昨年(ちょうど還暦を迎える節目の年)の7月27日(土)にやっと集う事が出来ました。

まるで映画の中の出来事の様な辛い4年を我慢しての開催は喜びも大きく、遠方からも沢山の懐かしい顔が31人も集まってくれました。

会場は34期岡くんの店 下高井戸「爺」。

(ジジババの大移動は大変なので)二次会探しの心配の無いような時間設定等、色々ご配慮いただきました。

岡くんの同級生34期から



「また次も元気で会おうね。」

4人が飛び入り参加してくれ、総勢35名。

美味しいお料理とお酒を囲んで60歳を祝いつつも、しばし若い時に戻って時間を忘れて大いに盛り上がりました。

今回の幹事はクラス毎に担当しようとの決め、必ずまた集まろうとの約束し、ベは松沢中学校祝還暦同窓会の手作りポスターの前で笑顔で記念撮影。

加藤さん、忙しい中、大きな模造紙に色まで塗って立派なポスターを作ってくれてありがとう。

同期会を開く際は同窓会から15名以上(80歳以上は3名以上)の参加で助成金が出ます。詳しくは、ホームページを参照するか松永会長までご連絡ください。



73期
成人
おめでとう

73期 藤原 遥人

僕らの学年は中3の3学期にコロナが始まり、高校入試明けから卒業式までの一番楽しい時期に学校が閉鎖した残念な学年です。今回の成人式では卒業以来5年ぶりの同級生が多く、会えるのを凄く楽しみにしていました。

成人式は日大のホールでみんな座って公人の話を聞きました。中学時代は校長や来賓の話中に小声で野次を飛ばしたり論破しようとしてみた幼さでしたが、今はほとんどみんな黙って聞けるようになったみたいです。

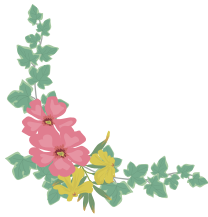
有名な方から身のお笑いコンビ三四郎さんとテレビドラマ「相棒」の神保悟志さんからでした。ありがたいメッセージでしたがあまり世代じゃない人多いのが、去年来たらしいあのちゃん良かったとこぼす面々もいました。

僕は「相棒」を見て嬉しかったので神保さんはとても嬉しかったのですが、三四郎さんは「ボケもなかったの良かった、それならあのちゃんが良かったです。」

その後は自然と松中に集まって50人近い集合写真を撮りました。女子の振袖姿が本家に皆んな可愛かったです。家を出る前、母から「女子はこの日のために3時に起きて時間をかけて準備してるんだから絶対全員にかわいいねって褒めてこい」と叱咤激励を受けていました。そんなの当たり前前だ。自分が式典開始30分前に起きてる中、女子は7時間も前に起きてるなら死ぬほど褒めちぎってやると意気揚々と大会会場に向かいまわった。が、正直思ってた何倍もみんなが可愛かったので、緊張して「良いね振袖。似合うね振袖。」までしか言えませんでした。振袖は沢山褒められたのに、振袖姿まで言えませんでした。情けないです。そして、赤小出身なのでよく遊んでいた山下西公園で中学受験組の小学校同期とも再会し、経堂コルティのイタリアンで今日だからいっかと小さなワインをちびちび飲んでから、18時からの渋谷での同窓会に参加しました。

同窓会は写真撮るのも忘れるほど楽しかったです。中学まで公立に通って本当に良かったと思います。同じ環境で同じ経験をしていた中学当時よりも、違う環境で違う経験をしている今の方が聞ける話がそれぞれ面白かったです。料理人、ダンサー、彫師、自衛隊、イラストレーター、芸人、整体師、レスキュー隊、陶芸家など、具体的な将来の道を描いてやることをやっていた人達が何人もいました。僕は今東京大学に通っているのですが、大学の同級生達は選択肢が多すぎるからか逆に将来の道を選べず、努力する予先を見つけられずにいる人が多い印象です。僕自身もやりたいことは多くあるのですが、今は広く浅く色々なことに触れている最中です。そんな中15歳まで一緒にいた仲間がここまで具体的にやりたいうことを見つけていることが嬉しかったです。正直焦りさえ覚えました。努力の方向性が勉強くらいしかなく共通していた分野でそれぞれの努力をしている今、飲み場で話すエピソードも新鮮で飽き足らず、2時間立ちの飲み放題を4時間に伸ばして、その後朝までカラオケにも行きまわった。特にダンサーのギャルと自衛隊の絡みは最高でした。「そんなんで国を守るのか」と野次を飛ばして酒を飲ませ、酔って座った彼に「女でも立つてるのだからお前も立て」と、もはや司令を下していたあの件は一生わすれません。

世界を見ると、僕らの成人式の1月13日の直後15日にガザ停戦が合意され、19日から段階的に人質の解放が進んでいます。20日にはトランプ大統領が就任し、ロシアウクライナ戦争の終戦に向けて圧力をかけているものの、先行き不安です。この原稿を書いている2025年1月末、そんな世界をスマホ越しに間近に見せられています。同じ20歳の外国人が命をかけて戦っているこの世界で、一方で日本では幸せな成人式を迎えられたこと、平和ボケですが、こういった節目では特に日本人として生まれて良かったと実感してしまう自分もいます。



誤解を恐れずに言うと、20歳に地元で集まって成人式をする文化のある日本で生まれ育ち、日本人としてちゃんと楽しむものを楽しめて良かった。与えられた環境下で自分の人生を生きて行こうと言うのが今の僕の結論です。僕は昔から早く大人になりたいと思ってきました。自分で意思決定を下して何者にでもなり得る自責の世界、大人になって、ようやく手にした自由を謳歌できています。年を増すごとに見える世界が広がって、会える人も行ける場所も得る知識も増えて、常にあるのが一番楽しいです。今回の成人式は、これから社会の主流に絡み始める前の20歳の節目に自分の原点に立ち戻り、帰る場所があることを確認できた密度の濃い時間でした。これからの互いの活躍が楽しみです。

2024年10月19日(土) ホームカミングデー報告

副会長 20期 朝倉 俊道
昨年10月19日(土)、9回目の「ホームカミングデー」が5年ぶりに母校で開催されました。普段学校内に入れない同窓生が学校の現況を気軽にご覧いただけるようにと企画したもので、松中祭(合唱の部)の日に合わせて開催しています。

会場は母校のご厚意によりミーティングルームをお借りしています。回を重ねる度に卒業アルバムの写真や会報の展示が増えるので、松中の歴史展のような感じになってきました。が、松沢中学校発足当時(1948年)のイラストなども展示しました。つい忘れてしまふ方の為に年会費受付のコーナーも設けました。

昨年は、下1桁が3の73期、363期、53期、43期、33期、23期、13期、3期の卒業写真を中心展示しました。会場では、展示物をご覧になる同窓生あり、再会を喜び歓談する同窓生あり、様々な年代の同窓生が訪れてくれました。同期で誘い合わせて来られた同窓生もありました。

今年も松中祭(合唱の部)に合わせて、10月25日(土)に「ホームカミングデー」を開催する予定です。今年は、下1桁が4の74期、64期、54期、44期、34期、24期、14期、4期の卒業写真を中心に展示する予定です。卒業してから足が遠のいている母校に同窓生が気軽に訪れる場として、これからも開催して行きますので、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。お待ちしております。



卒業写真に見入る同窓生

松沢中学校との関わり

2025年3月22日
松沢中学吹奏楽部定期演奏会鑑賞

会長 松永 隆

この日は、つい3日前に卒業された第78期の生徒さんが参加する最後の演奏会でした。同窓会から2024年11月に寄贈したトロンボーンがデビューし、顧問の清水先生がそのトロンボーンのパートの生徒さんにインタビューをしてくださり、「いい音が出て新品でとてもきれい」という嬉しい言葉をいただきました。寄贈については、生徒への直接の支援が最近あまり行われておらず、校舎の建て替え計画でも邪魔にならずに役立つものを検討しました。学校の意見も聞いて、実際にテープで補修してある楽器も複数の役員で確認させてもらいました。コロナ禍で積み上がった年会費を、前例にとらわれずに使うことにしました。以下学校関係者からいただいた謝意です。

校長 大塚 洋一

松沢中学校吹奏楽部はコンクールでの「金賞」を目標に、そして発表会や地域のお祭り等で演奏できることを楽しみに、日々の練習を頑張っています。学校予算の関係から高額な楽器はなかなか購入することができないので、修理を重ねつつ、丁寧に扱うことを心がけています。

そんな中、この度同窓会より素晴らしい楽器（トロンボーン）を寄贈していただきました。ますます生徒たちは、意欲的に、かつ楽器に愛情をもつて大切にすることと思います。同窓会の皆様、ありがとうございました。

吹奏楽部顧問 光川 かおり

トロンボーンをご寄贈いただきましたこと、心より感謝申し上げます。皆様のご厚意に深く感動するとともに、大きな励ましをいただいたと思います。

吹奏楽においてトロンボーンは重要な役割を担う楽器です。その重厚で豊かな響きは楽曲全体の調和を支え、時には旋律をリードし、演奏に奥行きと迫力を与えてくれます。特に中学生の演奏においては、楽器の性能やコンディションが生徒たちの表現力や自信に大きな影響を与えるため、質の高い楽器の存在は非常に重要です。

これまで本校の吹奏楽部では、限られた数の楽器を大切に使いながら練習を重ねてきましたが、生徒数の増加や楽器の多様化に伴い、どうしても楽器の不足が課題となっていました。そうした中での今回の寄贈は、生徒達にとっても私たち指導者にとっても何よりの支えとなりました。

新しいトロンボーンを手にした部員の目は輝き、楽器を吹くたびにその音の伸びやかさ、反応の良さに驚きと喜びを感じております。彼らの音楽への意欲は一層高まり、日々の練習に一段と熱が入るようになりました。この楽器は、これからの吹奏楽部の活動の中で、長く大切に使用させていただきます。

今回のご寄贈で、生徒達は「支えてくれている人がいる」ことを実感し、そのことが彼らの成長にとっても大きな糧となつていきます。今後もこの思いを胸に、音楽を通じて豊かな感性と表現力を育む教育を続けてまいります。

吹奏楽部外部講師 下川 夏生

このたび、同窓会の皆様よりトロンボーンをご寄贈いただき、心より感謝申し上げます。私自身、本校吹奏楽部の卒業生（73期）として、このような形で母校に関わり、指導できることをとても嬉しく思っております。

新しく、この素晴らしい楽器が加わったことで部全体の音の厚みが増し、演奏の質が向上しました。特に定期演奏会では、その美しい響きが会場を包み込み、生徒たちにとっても大きな自信につながりました。

このトロンボーンは、先輩方の思いが詰まった貴重な贈り物です。これからも部員たちとともに、この楽器を大切にし、さらに素晴らしい演奏を届けられるよう努力してまいります。

改めて、心温まるご支援に深く感謝申し上げます。今後とも、部活動の成長を温かく見守っていただけますと幸いです。



インタビュー



会長から外部講師下川さんへの贈呈



演奏

※12面の「編集後記」もご参照ください

入学式に参列しました

副会長 20期 朝倉 俊道

2024年4月9日（火）、松沢中学校の入学式に同窓会代表として参列しました。当日は雨模様でしたが、例年より多い新入生132名が入場する姿は初々しかったです。

式典では校長先生の式辞や新入生誓いの言葉、在校生による歓迎の言葉があり、新入生たちの緊張と期待が入り混じる様子が印象的でした。新入生の皆さんが素晴らしい中学校生活を送り、友情を育みながら共に成長していくことを心より願っています。

2024年5月18日

松沢中学校運動会を見学しました。

会長 松永 隆

今年は、天気も良く運動会日和でした。新学年になり短期間での練習本場にご苦労様でした。

特にリレーでの3年生のスピードには圧倒されました。素晴らしい運動会でした。また、PTAの方々や「おやじの会」の方々も運営に協力されており、感謝します。

全校の生徒・

教職員に同窓会の説明をしました

会長 松永 隆

2025年2月3日の松沢中の朝の全校集会で、会長松永が2024年11月に新品のトロンボーンを同窓会から松沢中学校に寄贈したこと、ホームカミングデー等同窓会の活動について8分ほどスライドを使いながら各教室にTV中継で話しました。昨年に続きこのような機会を作っていたいただいた事に感謝します。

松中祭（展示の部）に出品しました

副会長 20期 朝倉 俊道

昨年同様、卒業式間近の3月5日より4日間「松中祭（展示の部）」に同窓会からも出品し、生徒さんの作品と一緒にミートイングループに展示させてもらいました。2枚のボードに、①トロンボーン寄贈のお話を口火に同窓会の主な行事と同窓会組織の紹介+会報紙の紹介とメール受信のおすすめ②松中の歴史（4期小室穠嗣）+半世紀前の松中界限（19期高須清）を展示しました。

卒業式に参列しました

副会長 20期 朝倉 俊道

2025年3月19日（水）、松沢中学校の卒業式に同窓会代表として参列しました。当日は雪交じりの天気でしたが、卒業生120名が会場に入場する際の拍手の音は、クラス名が呼ばれると一層大きくなり、会場の熱気を感じました。また1人ずつ舞台に上がり、名前を呼ばれて元気に返事をし、卒業証書を受け取る姿は立派でした。

在校生が『時を越えて』の合唱で卒業生を送る際は、卒業生全員が一斉に回れ右して在校生と対面になり在校生の歌声を受け止めていました。また卒業生が『友 旅立ちの時』の合唱で在校生に別れを告げる際は、舞台上に階段状に6段に整列して、在校生に向けた別れと感謝の思いを見事に歌い上げていました。中学校生活での楽しかったこと、苦しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、すべてを糧に、卒業生の皆さんが新しい道を切り開いていくことを心より願っています。

同窓会の講演会

2024年10月21日に2人の卒業生の講演が
30名の参加で盛況に行われた（松中ミーティングルーム）



参加者集合写真

「福島第1原発とその周辺を見てきました」

経歴

1951年 静岡県静岡市生まれ
1964年 松沢小学校卒業
1967年 松沢中学校卒業
1970年 東京都立戸山高校卒業
1975年 京都大学理学部卒業
1975年 古河電気工業株式会社入社 IT部門に在籍
イラク・ヨルダン等の電話網建設工事サポート
2003年 古河電池株式会社に異動その後転籍
システム部門、監査役業務に従事
2019年 古河電池株式会社を退職、年金生活者になる
2021年 松沢中学校同窓会会長に就任

松永 隆 (20期) (同窓会会長)



2024年5月に2023年の同窓会講演の講演者で8面の投稿者でもある22期石崎芳行さんのサポートにより、福島第1原発と周辺の市町村を見学した。

福島第1原発の中では約4,000人の人が廃炉に向けた作業を行っている。

地元の市町村や東京電力を通じて見学を申し込めば、数か月先の見学が許可されることがある。

爆発した1号炉から3号炉以外のところでは除染が進み、防護服をつけずに入れるところが多い。私も線量計はつけていたが、防護服なしに1号炉へ100mのところまで東京電力の職員の引率で行った。

原発は通常運転の際にもトリチウムを出していた。トリチウムが出すβ線の放射能は非常に弱く、トリチウムの放出は問題ないとの見解は原発の稼働時からあった。今後も稼働する原発からトリチウムは排出される。

福島原発の中には、燃料デブリに触れて未処理の汚染水、ALPSによって除染処理された処理水、過去古いALPSによって処理されたが国際的排出基準を満たさない処理途上水がある。タンクの7割が処理途上水で、最新鋭のALPSでの再処理が必要である。

福島県の被災市町村でも復興については大きなばらつきがある。川内村や楢葉町では復興が進んでいるようだが、第1原発があった大熊町、双葉町は、町の活力を回復するための将来像は描けていないと感じた。また汚染土壌を「中間処理施設」という名で置いているが、実質最終処理場になってしまうような気がする。



懇親会

「患者はどのように医師・医療と向き合えばよいか」

～満足のいく医療を受けるために～

磯部 光章 (21期)

経歴

1952年 世田谷区赤堤生まれ
1959年 世田谷区立赤堤小学校入学
1965年 世田谷区立松沢中学校入学
1968年 都立戸山高校入学
1971年 東京大学理科II類入学
1978年 東京大学医学部医学科卒業
1978年 東京大学医学部附属病院内科研修医
1980年 三井記念病院内科
1983年 東京大学医学部第三内科助手
1987年 ハーバード大学マサチューセッツ総合病院留学
1993年 信州大学医学部第一内科助教授
2001年 東京医科歯科大学（現東京科学大学）循環器内科教授
2017年 榊原記念病院院長



増加する一方の心臓疾患は診断法も治療法も進歩しているものの、重要なのは予防と早期発見、早期治療である。さらに病後の再発予防と、もとの生活や仕事への復帰が課題である。医療の負荷（人的及び費用）も大きく、長期にわたり豊かな健康を維持するために医療機関の選択や医師との付き合い方が大事である。

日本の医療サービスの水準は高く、安価であり、患者は自由に医師を選択することもでき、入院・治療待ちの時間も諸外国に比べて少ない。ただ、国民皆保険に支えられている現在の医療経済は限界にきており、また不適切な医療情報が氾濫しているのが現状であり、患者の側も適切な医療を受け続けるために賢く行動していただきたい。

注：国内でも有数の心臓病の専門病院である榊原記念病院（府中市）は外来部門の榊原記念病院附属クリニック（新宿南口に新築移転）とカルテを共有して診療しています。どなたでも受診が可能です。

（公財）榊原記念財団附属榊原記念病院

循環器内科、心臓血管外科、小児循環器内科、小児心臓血管外科、循環器救急科、血管外科、産婦人科、など

〒183-0003 東京都府中市朝日町3丁目16-1 TEL 042-314-3111

hp.heart.or.jp 「心臓病総合相談窓口」開設のご案内 - 榊原記念病院

榊原記念病院附属クリニック

循環器内科、心臓血管外科、小児循環器内科、小児循環器外科

クリニックは紹介状なしで受診でき、メール・webでも予約ができます。

東京都渋谷区代々木2-5-4（新宿南口から徒歩4分） TEL 0570-00-5277

sakakibara-heart-cl.jp

福島復興の現在

「原発事故被災12市町村の現状と覚悟」について

22期 石崎 芳行

○福島県は、電気事業が誕生した明治時代以降、首都圏の発展に寄与してきた大電源地域で、東電とも長らく共存共栄関係にあった。私自身も仕事を通して福島浜通り地域とのお付き合いは約30年、いわば「第二の故郷」だ。

○しかし、2011年3月の東北大震災・原発事故により福島県・東電の共存共栄関係は大きく崩れ、政府指定の被災12市町村だけでも強制的に避難させられた人数は16万5千人にのぼり、中には「直ぐ戻れるだろう」とサングラス履き、財布も持たずという方々も多かった。

「第二の故郷＝福島」の人々にとって、社員であることを誇りにしていた東電は一気に「憎しみの対象」となってしまったが、原発事故の一番の罪は「一瞬にして日々の生活を奪ってしまったこと」だと、今でも痛感している。

○事故以降、被災12市町村を中心とした被災者の対応窓口責任者として謝罪・賠償・復興支援などを担当してきたが、2018年に現役を退くに至った。その間、被災地・被災者の現実に向き合い、現実を知れば知るほど「福島に寄り添い、復興・地域づくり」に身を捧げねば、

何のための電力マン人生だったのか」との想いが募り、残りの人生の在り方について覚悟を決めた。

○退職後は、新たな立場で福島に住みながら復興に関わる活動が続いている。具体的には、大学客員教授として国内外の学生に向かつて「福島と原子力」の関係を語り、まちづくり会社顧問としてはこれまでの人脈を活かした「企業誘致・コミュニティづくり」で復興支援を行い、「アンバサダー・観光大使」としては「福島の魅力発信と地域案内」を、さらに元電力マンとして「新産業創生プロジェクト」などに取り組んでいる。

また、福島浜通り地域とのお付き合いが約30年に及ぶことから、この地域の表も裏も知り尽くした存在として「伝承活動や各種の相談役」などを担っているが、最近では「福島浜通りを良く知るお節介りさん」として元々の住民と移住者の繋ぎ役としての活動なども増えてきている。

○被災12市町村の復興状況は、少しずつ進展してきているが、その進捗度合いは市町村・地域の状況によって大きなばらつきがあり、いわば「光と影」がより鮮明になってきているのが現状である。これまでは「ハード」の整備期間であったと言え、今後はそれらを活用して新しいコミュニティ

ティを形成していくための「ソフト」の時代に入ってきたと言えるが、「ハード」整備についても自治体によって進捗度合いがかなり違っている。その原因は自治体によってマチマチであるが、「首長のリーダーシップと議会との関係性」が一番大きな要因ではないかとみている。

○新しいコミュニティを形成するにあたっては、元々の住民と新しい移住者との間や、新しい移住者同士の関係性において複雑な事情で軋轢が生じている現状も見え隠れしてきている。また、補助金目当ての企業進出や起業が行われることもあり、「金の切れ目が縁の切れ目」という現実もあったりする。今、全国的に各自自治体が「移住定住促進策」を挙げて行っているが、福島の被災地でも同様で、もともと自然環境の豊かなどこ潜在的魅力が詰まった地域で各自自治体でもいろいろと工夫を凝らした取り組みを行っている。しかし、帰還人員の少なさやハード面の整備不足・遅れを抱えている自治体は大変苦労している現状にある。この地域では「移住定住促進策」として、単に「お金で釣る」方策だけでは実効を上げることが非常に難しいのが現実だ。

○福島に住まう元電力マンとして、今、危惧していることについて敢えて申し上げたい。

一つ目は「福島原発事故の風化」のことである。福島県外の方々、とくに大都市圏では「風化」がかなり進んでいる現状にあるとみているが、福島の被災者の皆さんは「原発事故で被災した私たちのことが忘れさられることが一番辛く心配だ」と強く訴えている。社会全体として原発事故の記憶と教訓を風化させない取り組みが是非とも必要だと私自身も最近強く感じている。

二つ目は、「原発問題を単なる二項対立の議論だけに終わらせないでほしい」ということ。原発・エネルギー問題は福島や電力会社だけの問題ではなく、私たち一人ひとりの問題だということ。とくに、次世代を担う若い人々には、是非、「自分事」としてこれからの日本のエネルギー問題について建設的な議論を戦わせてほしいと念願している。

○「世のため、人のため」と想い電力業界に身を投じたが、結果としてその会社が事故を起こしてしまい、「第二の故郷」と思っていた福島に対し大変な被害・迷惑をかけてしまったことは痛恨の極みであり、会社を辞めた立場であっても生ある限り「福島浜通りのお節介りさん」として福島復興に取り組んでいくが、福島に住んでいなければ見えな

いことが多くあることから、「生涯現役」を目指して福島に寄り添っていく所存である。

○最後に、同窓会の皆さんへ。是非、実際に福島にいらしていただきたい。首都圏の電力需要を支えてきた福島の実態を自身の目で見て、身体で感じていただきたい。そこから自身で出来る「福島復興支援」とは何なのかが自ずと見えてくると思う。是非、よろしくお願いしたい。

福島来訪についてご質問がある方はメールでご連絡願います。



経歴

1953年 東京都世田谷区生まれ
 1969年 松沢中学校卒業（←松沢小学校）
 1977年 都立新宿高校～慶應義塾大学法学部
 法律学科を経て、東京電力（株）に入社
 2018年 広報部長、福島第二原発所長などを歴任し、
 副社長～福島担当特別顧問を経て退職
 2019年 東日本国際大学客員教授、
 一般社団法人「ならはみらい」顧問、ほか
 （福島県双葉郡楢葉町在住）

メール：yuneti2000@yahoo.co.jp

能登半島地震復興支援レポート

能登半島地震災害支援活動レポート

会計監査 20期 宮森 和彦

今回は、2025年2月21日から3月10日まで支援を実施した。2月21日は午後から、3月10日は移動日で実質、16.5日の活動をした。前回（今年1月5日から20日まで）と同じく、地震と豪雨で仮設住宅に移った住民ひとりひとりに聞き取り調査をする。輪島市から委託を受けた支援活動で、各住宅を訪問し、住民の健康に問題はないか、住宅に不備はないかを住民から聞き出し、健康や住宅に問題がある場合は、市の担当課へ報告し、改善することを主たる目的とした活動だった。

「弁当忘れても、傘忘れるな」という能登の言い伝え通り、不安定な天候が続いている。一日中、晴れるということは、あまりない。青空が広がってきたかと思えば、雨や雪が降ってくる。一軒一軒、訪問する。

訪問する仮設住宅は、木造平屋建て瓦ぶき屋根、コンテナハウスのような構造、プレハブ型などいろいろある。仮設住宅に入居できる条件は、自宅が、半壊以上と判定された人に限られている。

雨や雪の日の訪問は、大変だ。聞き取った内容を記録するが、書いたメモが消

えたり、書けなくなったりする。

ほとんどの人は、我々の活動に好意的に対応してくれるが、行政のやり方に不満を持っている人から、我々が訪問しても、「意味がないから帰ってくれ」と強い口調で言われ、聞き取りができなかったこともある。

高齢者で独居の人は要注意で、不在が続く場合は、市に報告し、安否を確認することもあった。

人によっては、あまり話す機会がないようで、多くのことを話し始め、我々は、聞くことになる。それで、その人のストレスが解放されればよいと思ひ、聞くようにしている。しかし、与えられた時間に、担当する件数を訪問するのは、難しい。

こんなに復旧活動が遅れている原因は、被害地域の道路事情とボランティアの受入れ態勢に問題がある。

道路事情は、以前よりは良くなっている。一方、発災当初、個人で災害支援ボランティア活動を行う受け皿がなく、活動できなかったことを聞いている。昨年9月豪雨災害では、個人の災害支援ボランティア活動を、輪島市が、受け入れていたが、今は受け入れるところが少ないのが現状である。そんな中で、JOCA（青年海外協力協会）は、今年

度も輪島市と委託契約を継続し、支援活動をしている。

JOCAは、仮設住宅に移った住民へのサポートをしているが、被災した人は、その他にもいる。自宅が、半壊以上の人は、仮設住宅に入れるが、半壊以下の人は、自宅を修理して住んでいる。私は、今後、そのような人たちにもサポートしようと考えている。例えば、障がい者スポーツ「卓球バレー」をやっている人がいるので仮設住宅に住んでいる人もそうでない人も一緒に楽しめるよう、そのスポーツができる施設を探す手伝いをしている。

高齢化率とは、全人口に占める65歳以上人口の割合だが、輪島市が50%以上になり、これからの市政に危機感を募らせている。輪島市の門前地区では、70%になるといふ。仮設住宅の住民の話の聞くと、ほとんどの人が自宅の再建をせず、公営住宅へ転居したいという。自宅を再建しても、子や孫が跡を継ぐ見込みが立たない事が理由だ。

最初の写真は、昨年7月の輪島を象徴する倒壊した五島屋ビル、次は、今年3月のもの。ようやく、解体が終わり、更地になった。復興に時間がかかっている。



地震により、農地への被害も深刻で、田んぼが地割れして、水がたまらない状態になっている。千枚田がその実例で、千枚ある田んぼのうち、2割程度しか水をためられない。2024年5月の写真で見ると、田植えできる場所が少ないのがわかる。



下高井戸が変わっていきます

会長 20期 松永 隆

市場は更地になりました

前回で閉鎖を報告した下高井戸駅前市場の敷地は2024年年末で更地になり、所有も世田谷区に移りました。とりあえずアスファルト舗装されますが、今後の利用計画は詳細には決まっていないようです。市場内にあった鮮魚店「長谷川商店」と豆腐屋「いづみや」は、市場跡地と丸シビルの間に新しい店舗を新築し賑わいが復活しています。

また、踏切を挟んだ旭鮎総本店も解体され（松小近くの仮店舗で営業中）、隣にあったマツモトキヨシ跡の広い敷地に5階建ての新店舗が建設されるそうです。そのため踏切付近は、一時的ですが、広い空間があります。

京王線の高架の橋脚の基礎工事があちこちで進んでいます。住民には工事の完成予定が示されていません。



同窓生ブチ近況報告

(2024年4月〜2025年3月)

4期 船曳 孝彦
諸病に悩まされてはおりませんが、元気に活動しています。同期会もやりたいと考えています。

7期 進藤 剛毅
元気に働いています。

8期 渡邊 由貴子(斉藤)
いつも会報をお送り下さりありがとうございます。大病もせず東京のコンサートに出かけ、40年間コーラスを続け、日本各地の大会にも行つて仲間とのランチも続けております。これも家族全員が元気でいてくれるお蔭と感謝しながら、日々暮しております。

9期 中島 秀男
幹事各位、いつも労力を使つて下さり、懐かしき想いに浸れます。感謝々々！下高井戸は良きにつけ悪しきにつけ思ひ出はそこここに、9期も12名の消息？まあ頭の色も灰色に！私は縁あつて埼玉に生き延びて居ります。少年サッカーコーチ時代も30年余、もういっぱいですヨ。

12期 武田 隆三
昨年同期会に参加し楽しい一時を過ごすことが出来ました。

12期 釜谷 総子(国府田)
80才、自分でも信じられない年令になりました。これか

らどう生きるか？

12期 久保田 節子(福島)
大阪に居住しているので同級生に出会うこともなく、年1回の会報紙が楽しみです。会費納入者リストを見て、名の出ている方はお元気だなと思ひ、消えてしまった方は？と心配したり、楽しい想ひ出の多い中学生の頃を思ひ出しながら、もう80才だからな…。

12期 加島 妃呂子
松中を卒業して六十五年。いまだに、学舎の素晴らしかった思い出が、走馬燈の如く脳裏を過ぎります。

12期 池田 辰彦
地元佐倉で市社協の一員として、日常生活自主支援等、ボランティア活動で忙しかっています。

13期 佐粧 栄子
お役目ご苦労様です。高齢者になりイベントに参加できませんが、若い人達の活躍楽しみにしています。

14期 村山 和子
松中の会報が届くと、何故か胸キュンとします。遠い過去へのノスタルジーでしょう…。

14期 立澤 静子(東條)
長い間、松沢中学校同窓会紙を送付してくださり、ありがとうございます。私もそろそろ終活の時、松沢中学のさらなる発展を祈ります。

15期 飯田 敏夫

今年で透析治療生活30年になります。昨年は手根管症候群と脊柱管狭窄症の手術により、満身創痍の状態です。今年の3月に孫(男)が松中を卒業し都立高校へ進学しました。これからが楽しみです。

16期 吉岡 献太郎
特に変わりなく。元気に働いています。

16期 堀永 省一
2024年5月、2年担任の時46才で亡くなられた小笠原隆長先生の墓参に62年ぶりに行つて参りました。小平霊園のお墓は昔のまま、浜田山のご自宅も昔のまま、ご子息、ご息女は4人ともご健在で、メールで親しく思ひ出を語り合いました。

17期 徳重 裕士
松原学園幼稚園の園長をしており、毎日子ども達から沢山の元気をもらっています。生涯現役の予定です。皆さんも是非一度、当幼稚園に遊びに来て下さい。これからもお元気で過ごし下さい。

19期 上野 久美子(伊藤)
事務局のお仕事、いつもありがとうございます。いつも楽しく読ませて頂いています。下高井戸がさまざなりしてしまふのがとてもさびしいデス…。クラブ活動帰りに皆でコロッケを買つて食べた思い出のお肉やさん…、お店ももう

無くなつてしまったのでしょうか…。玉電のチンチン…という音がなつかしく思ひ出されます…。

20期 上谷 真知子
データ入りのパソコンになれず、情報通信技術を利用できないという差、格差である。できる人、できない人の差。自分の30代にふとふりかえると…何もしてなかったと、反省しています。また、クラス会を開いて下さい。このごろ、さみしくてね。親友を亡くしました。身体に気をつけよう。

22期 積田 直人
私達より先輩の皆さんが、積極的に同期会を開催されたり、投稿されたりしておられることに敬意を表します。お元気でスゴイ!!

27期 須賀 正則
今後とも宜しくお願い致します。

29期 金丸 直美(堂本)
学研豪徳寺駅前教室を開室して10年になり、松沢中生も数人指導してきました。部活(吹奏楽部など)の発表を見に聴きに行くのも楽しみとなっています。同期会も開催されないで、消息が気になっています！

29期 蒲田 哲也
御苦労様です。感謝しております。いつも楽しみにしています。引き続き宜しくお願い申し上げます。

33期 倉橋 茂子(佐藤)
近くの熊野古道の山歩きをしています。山には野生の穴熊、リス、ヘビ、時にはイノシシにも遭遇します。世田谷にいた頃には考えられない驚きの日々です。

33期 池田 潔
同窓会の運営、会報のご送付など、いつも有り難う御座います。

33期 石川 知之
去る令和6年7月27日に還暦同窓会が開催(60名位参加)されました。お互いに年輪を重ねたことを実感…3年後に又開催…する…らしい…。

74期 内山 晴登
いつもありがとうございます。

★お断り 紙面のスペースの関係で掲載できない投稿がありました。ご了承願います。



同窓会からのお願い

会長 20 期 松永 隆

1. 会報紙及びホームページへの投稿

◎同期会の報告 そろそろ同期会も以前のように開催されるようになったかと思います。同期会の様子(400 字程度)と集合写真の送付をお願いします。

締め切りの関係で2月までに会長までメールでお願いします。また予定がある期は事前にご連絡いただけると有難いです。

◎近況報告 添付のハガキまたは電子メールにて 100 字以内で送付ください。

◎寄稿 会員の皆様に伝えたい事があれば、会長まで電子メールで連絡ください。ホームページに掲載します。

会長メールアドレス president@matchu-dousou.mimoza.jp

2. 会報受け取り方法の変更及び確認

①メールで受け取る ②郵送で受け取る ③HP 等で確認するのでメールも郵送も不要

会報紙は 27 号(昨年発行)から

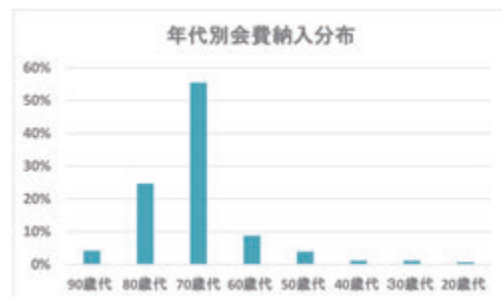
ホームページ <https://www.matchu-dousou.mimoza.jp> でも公開しています

会報送付関連連絡用メールアドレス

kaiho-sofu@matchu-dousou.mimoza.jp または、会報紙同封のハガキにてご連絡ください。

2025年度はこのメンバーで頑張ります
() は卒業期

会計監査	常任幹事	副会長	会長	常任幹事会メンバー
宮森	鈴木	小林	佐藤	伊東
和彦	和夫	秀樹	見子	木田
(20)	(22)	(20)	(27)	(56)
				(20)
				(20)
				(41)
				(20)
				(20)



同窓会はあなたの年会費で成り立っています

年会費を納めている会員の皆さま、いつもありがとうございます。

本年から郵便料金が大幅値上げになり、また通信ネットワークの接続料や印刷料金等、諸物価が高騰していますので年会費の納入をお願いします。会費納入方法については、下記のとおりです。なお、卒業期は会報をお送りした封筒のお名前の前に印字されていますが、「93ー2025 年 4 月 1 日現在の年齢」で計算できます。

1. 年会費 1 口 1,000 円(何口でも結構です。但し 1 年分の入金となります)
2. 払込(振込)期間 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで(この期間での入金は、不掲載を希望した人以外は、2026 年 6 月発行会報 29 号に氏名を掲載し、ホームページにも掲載されます。)
3. 払込方法

①郵便局での払込 会報紙に同封された払込用紙が郵便局にある青い払込用紙で口座記号・番号 00140-5-359989 加入者名 世田谷区立松沢中学校同窓会 をお願いします。同封の用紙でない場合は、氏名の頭に卒業期を書いて下さい。

また、氏名の掲載を希望されない方は、氏名の後ろに掲載不可と書いて下さい。

②銀行振込 ATM かインターネットバンキングでの振込

振込先 ゆうちょ銀行 ○一九店 当座 359989 セタガヤクリツマツザワチュウガッコウドウソウカイ 振込人氏名の頭に卒業期(数字 2 桁)を入力して下さい。

また氏名掲載を希望されない場合は、振込人氏名の後ろに「ケイサイフカ」と入力して下さい。

2025年度世田谷区立松沢中学校 同窓会収支予算書

自 2025年4月1日 世田谷区立松沢中学校同窓会
至 2026年3月31日 会長 松永 隆

単位(円)	
前年度繰越金	3,562,068
今期 収入	744,000
今期 支出	796,960
次年度繰越金	3,509,108

単位(円)	
科目	金額
1.前年度繰越金	3,562,068
2.年会費	720,000
3.全体行事	20,000
4.その他	4,000
合計	4,306,068

単位(円)	
科目	金額
1.会報紙発行	125,940
2.通信費	153,020
3.事務費	77,900
4.広報費	7,100
5.会議費	155,000
6.助成金	20,000
7.新企画助成金	48,000
8.全体行事	210,000
9.予備費	3,509,108
合計	4,306,068

■定期貯金 2024年12月に全額
解約して、通常貯金に組み入れたため
今年度からはありません。

2024年度世田谷区立松沢中学校 同窓会収支決算報告書

自 2024年4月1日 世田谷区立
松沢中学校同窓会
至 2025年3月31日 会長 松永 隆

単位(円)	
前年度繰越金	2,930,168
今期 収入	1,562,363
今期 支出	930,463
次年度繰越金	3,562,068

単位(円)	
科目	金額
1.前年度繰越金	2,930,168
2.年会費	723,000
3.全体行事	0
4.その他	363
5.担保定期から	839,000
合計	4,492,531

単位(円)	
科目	金額
1.会報紙発行	112,497
2.通信費	150,715
3.事務費	92,829
4.広報費	6,600
5.会議費	205,778
6.助成金	11,000
7.新企画助成金	351,044
8.全体行事	0
9.予備費	3,562,068
合計	4,492,531

単位(円)	
科目	金額
1.会報紙発行	112,497
2.通信費	150,715
3.事務費	92,829
4.広報費	6,600
5.会議費	205,778
6.助成金	11,000
7.新企画助成金	351,044
8.全体行事	0
9.予備費	3,562,068
合計	4,492,531

■定期貯金 今期解約し、通常貯金に移動
前期繰越金 今期繰上金
839,000 0
今期取り崩し金 今期残高(次期繰越)
839,000 0
以上ご報告します
2025年4月3日 会計 20期 木田 隆
以上、監査の結果相違ありません。
2025年4月3日 会計監査 20期 貝原 延榮
会計監査 20期 鈴木 和夫

※払込手数料を安くする方法はホームページの
<https://matchu-dousou.mimoza.jp/sub34.html>をご覧ください。

生 ま れ 年 と 期 ・ 回 の 関 係	1 (期・回)	1932年4月～1933年3月生れ
	5 (期・回)	1936年4月～1937年3月生れ
	10 (期・回)	1941年4月～1942年3月生れ
	15 (期・回)	1946年4月～1947年3月生れ
	20 (期・回)	1951年4月～1952年3月生れ
	30 (期・回)	1961年4月～1962年3月生れ
	40 (期・回)	1971年4月～1972年3月生れ
	50 (期・回)	1981年4月～1982年3月生れ
	60 (期・回)	1991年4月～1992年3月生れ
	70 (期・回)	2001年4月～2002年3月生れ